

平成28年度事業報告

1. 概要

わが国は、昨年4月に「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正に伴う会員の働き方の要件緩和により、労働者派遣又は職業紹介による働き方において、業種・職種について週40時間までの就業が可能となる業務拡大の仕組みもでき、具体的な展開も始まりました。地域社会の様々なニーズに応えるためにも受注拡大を図り就業機会や会員確保に積極的に努めてまいりました。

こうした中、昨年6月には「ニッポン一億総活躍プラン」のロードマップでは、就業機会提供に積極的に取り組むシルバー人材センターに重点的に財政支援を行い、働く意欲のある高年齢者が能力や経験を活かして、生涯現役で活躍し続けられる社会環境を整えていくとして、多様な雇用・就業機会の創出をするためにシルバー人材センターの職域拡大などを強化することにより高年齢者が活躍する機会の拡大にも努めました。

また、ボランティア活動などを実施して、シルバー人材センターの役割を積極的にPRしました。

合せて、県連合が行なう植木管理講習会を実施し、一般及び会員の受講者16名が資格を取得し後継者育成並びに会員拡大に繋げることが出来ました。

2. 活動状況

(1) 安全・適正就業対策の推進

安全がすべてに優先することを念頭に一人ひとりが自覚し、安全・適正就業に徹し事故防止に努めました。

- ・安全対策基本計画及び安全就業事業計画を策定し安全対策の推進と安全意識普及啓発を行なった。
- ・安全・適正就業のパトロール隊による就業場所の巡回及び点検を実施した。
- ・安全委員会で事故発生 of 要因分析、再発防止に努めた。
- ・月刊「安全だより」の発刊による意識の高揚を図った。
- ・新規会員の安全講習会を開催した。

(2) 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の基本理念と内容について、地域住民や企業の方々に理解と協力を得るため各事業所管内（大月・都留・上野原）ごとにあらゆる機会を利用して普及啓発活動を行ないました。

- ・普及啓発用チラシ、パンフレットによる PR 活動
- ・「シルバーの日」を中心としたボランティア活動
- ・市の広報を利用して SP 事業等の紹介
- ・ホームページによるネット社会に対応した PR 活動

(3) 就業機会の開拓及び提供

- ・会員の希望と能力に応じた就業機会の確保のため新たな就業分野の開拓に努めました。
- ・市の広報誌を利用して、一般労働派遣事業の派遣すべき会員を募集した。
- ・一般労働者派遣先に会員を派遣した。

(4) 会議・研修会

- センターの運営を円滑にするため、職員の資質の向上を目的とした研修会に参加し合わせて情報の習得に努めました。
- ・職員全体会議・所長会議・担当職員会議を随時開催した。

(5) 大月ウェルネス・ネットワーク事業の取り組み

高齢者が主要な担い手になり ICT を駆使して大月市の豊かな自然を活用した着地型観光を、確立する取り組みと併せて移住希望者が安心して移住・定住ができるサポート体制を充実させる取り組みを通じて、就業と積極的な社会参加による高齢者の健康増進の現実並びに交流から移住・定住へと繋がる人の流れを創出するための事業を大月市から委託を受け行ないました。

3. 事業の実績

平成 28 年度の請負事業実績は、受託事業件数 2,950 件、就業実人員 313 人、就業延人員 27,603 人で、契約金額は 165,469 千円であった。前年度対比は 101.1% で前年度実績を上回ることができ、地域住民や企業の要請に応えることができた。また、一般労働者派遣事業の契約金額につきましては、18,990 千円で前年度実績を下回ることになってしまいましたが、今後も地域社会の活性化に寄与するとともに、都留、大月、上野原各事務所管内で協力し就業機会の確保・安全就業の推進を図り会員各位が社会の担い手のリーダーとしての自覚と誇りを持ち就業意識の醸成とシルバー人材センターの基本理念に立った組織運営に努めてまいりました。

以上、報告の概要であるが詳細については以下資料のとおりである。